

最後の銃撃 (1956)

THE LAST HUNT

メディア 映画

ジャンル 西部劇

製作国 アメリカ

時間 108分

初公開日 1956/11/14

公開情報 MGM

【解説】

70年代の“西部劇への挽歌”映画の匂いも微かにする異色のウエスタン。ハリウッドの中ではリアリストで通るR・ブルックスのハード・ボイルドなタッチが如何なく発揮された。描かれるのは、1880年代、数少なくなった野生のバッファローをダコタ地方に追う狩人たちの凌ぎあい。珍しくテイラーが悪漢に扮している。ラスト・シーンは結構ショッキング。

【クレジット】

監督	リチャード・ブルックス	Richard Brooks	
製作	ドア・シャリー	Dore Schary	
原作	ミルトン・ロット	Milton Lott	
脚本	リチャード・ブルックス	Richard Brooks	
撮影	ラッセル・ハーラン	Russell Harlan	
音楽	ダニエル・アンフィシアトロフ	Daniele Amfitheatrof	
出演	ロバート・テイラー	Robert Taylor	チャールズ・ギルソン
	スチュワート・グレンジャー	Stewart Granger	サンディ・マッケンジー
	ロイド・ノーラン	Lloyd Nolan	ウッドフット
	デブラ・パジェット	Debra Paget	インディアン少女
	ラス・タンブリン	Russ Tamblyn	ジミー・オブライエン
	コンスタンス・フォード	Constance Ford	ペグ